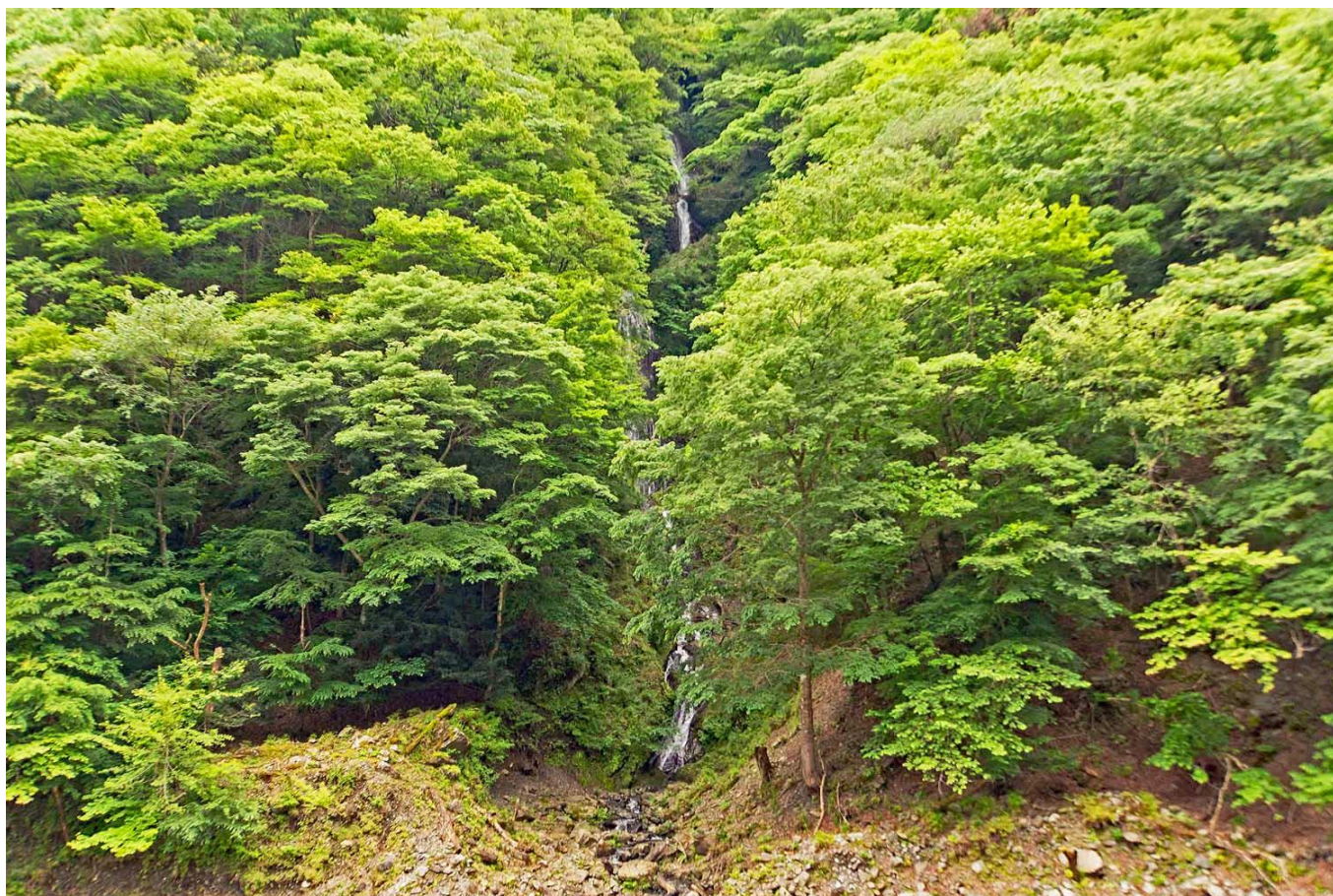


丹沢ボラネット瓦版

2023年7月号 No.114



西丹沢・夕滝↑案内

読みづらい古い案内板→

夕滝橋へ 200m

夕滝へ 400m

吊り橋の夕滝橋は豪雨で流され今は無いです。

今は夕滝へ行くには川の中へ入りシャワークライミングです。

対岸より全景を眺めるのが一番よいです。世附川沿い不老山の登山口付近です。



令和5年度丹沢大山ボランティアネットワーク総会

令和5年度総会は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、令和2年度、3年度、4年度に引き続き電子文書とメールでの開催となりました。

5月まで待てば5類感染症移行となり「総会も5月に対面開催してはどうか」という意見もありましたが、ボラネットや他団体の行事、事業等の予定もあり、例年通り4月に開催することになりました。**多分今回が最後の電子文書とメールでの定期総会となります。**

瓦版には、この貴重な総会を記録に残すため重要資料等を載せます。この新型コロナ感染症危機禍における令和4～5年度のボラネット活動の様子が、県民にも次世代にも伝えられ資料となれば幸いです。

1 日時・場所

新型コロナウイルス感染症をめぐる社会情勢を踏まえ、書面にて開催

- ・令和5年4月22日 総会に向けて会計監査及び臨時世話人会 AM10:00～
- ・令和5年4月22日 各団体に資料送付
- ・令和5年5月9日 各議案への賛否回答締め切り
- ・令和4年5月11日 各団体に結果報告

2 議題

- (1) 令和4年度事業報告・決算報告（資料1.2）
- (2) 令和5年度事業計画・予算(案)（資料3.4）
- (3) 世話人会の改選（資料5）
- (4) その他



←写真

総会を受け第1回世話人会
(ワーキングルーム)
R5年6月7日(水)

内 容

丹沢講演会、水質調査、世話人会瓦版、ボラネットのあり方等について協議する。

令和4年度事業報告

資料1

令和4年度事業報告

1 総会

実施日 令和4年4月23日（土）

※ 新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢を踏まえ書面開催

出席者 15 団体

内 容 通常総会

2 世話人会

（1）臨時世話人会（令和3年度会計監査及び会計引き継ぎ）

実施日 令和4年4月5日（火）

場 所 自然環境保全センター屋外テーブル

出席者 令和3年度会計担当含め7名

- 内 容 ① 総会へ向けて 会計監査及び臨時世話人会
② 新型コロナウイルス感染症禍においての事業の実施等について検討
③ その他

（2）第1回

実施日 令和4年6月1日（水）

場 所 自然環境保全センター屋外テーブル

出席者 6名

- 内 容 ① 年間世話人会日程等計画
② 丹沢ボラネット瓦版
③ 外来種駆除調査について
④ 次年度以降のボラネット活動に向けて
⑤ その他

（2）第2回

実施日 令和4年8月28日（日）～9月7日（水）（9月14日（木）結果集約）

方 法 電子文書とメール交換による書面開催

出席者 6名

- 内 容 ① 加盟団体へのアンケートと実施について
② 外来種調査駆除について
③ 水質調査協力団体について
④ その他

（3）第3回

実施日 令和4年11月29日（火）～12月1日（水）（12月17日（金）結果集約）
令和5年1月4日（水）～1月18日（水）継続審議

方 法 電子文書とメール交換による書面開催

出席者 6名

- 内 容 ① 令和5年度世話人会の構成に向けて

令和4年度会計報告及び監査報告

資料2

丹沢大山ボランティアネットワーク

令和4年度（2022年度）決算報告

令和5年4月1日

会計・遠藤順一

1. 収入の部

科目	予算	決算	予実差	備考
会費	0	2,000	2,000	R3 年度会費
助成金	380,000	206,345	-173,655	丹沢の緑を育む集い実行委員会 水質調査
繰越金	87,162	87,162	0	
合計	467,162	295,507	-171,655	

2. 支出の部

科目	予算	決算	予実差	備考
水質調査	260000	206345	-53655	
登山者意識調査	0	0	0	
外来種駆除活動	70000	0	-70000	行事中止
講演会	50000	0	-50000	行事中止
世話人会運営費	53000	19680	-33320	交通費、コピー代
丹沢大山自然再生委員会会費	10660	10000	-660	
予備費	23502	0	-23502	
合計	467162	236025	-231137	

3. 収支

収入総額	支出総額	残高
295,507	236025	59,482

令和4年度丹沢大山ボランティアネットワークの会計を監査しました。適正に執行されているものと認めます。

会計監査 森島真知子

会計監査 栗林弘樹

R年5月21日(日)

水質調査のため西丹沢県民の森へ
県民の森には水溜があった。(直系1、3m)
モリアオガエルの大きな二つの
白い泡卵塊が縁の内側に見える。

水中にはたくさんのオタマジャクシ
が泳いでいる。 人工の水溜写真→



令和5年度事業計画

資料3

1 総会

実施日 令和5年4月23日（日）

内 容 令和4年度事業・決算報告及び令和5年度事業計画・予算案 他

2 世話人会

実施日 年4回（6、9、12、3月）

※ 新型コロナウイルス感染症拡大状況に応じ書面開催も検討

場 所 神奈川県自然環境保全センター（ワーキングルーム）

出席者 世話人及び自然環境保全センター自然保護課職員

内 容 事業の企画運営ほか

3 活動事業

（1）水質調査

実施日 令和5年5月～6月

場 所 丹沢大山地域 水場 22箇所

内 容 大腸菌等 10項目の水質検査

（2）講演会

実施日時 令和5年10月21日（土） 9時30分～12時

場 所 神奈川県自然環境保全センター（レクチャールーム）

講 師 青木 雄司 氏

（神奈川県立生命の星・地球博物館 外来研究員、青山学院大学 非常勤講師、日本哺乳類学会 会員）

テーマ 丹沢の哺乳類について

（3）その他

夏休み親子自然探検隊（8月頃）の後援

※ 新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢等により、活動事業は中止の可能性があります。

4 広報

（1）瓦版の発行

（2）活動報告書の作成

（3）ホームページの更新

5 関係会議等への出席

（1）緑を育む集い実行委員会

（2）丹沢大山自然再生委員会

令和5年度予算

資料4

1 収入の部

科 目	予算 (A)	前年度予算額 (B)	比 較 (A-B)	備考
会費	54,000	0	54,000	世話人会の運営、丹沢大山自然再生委員会会費には繰越金を充てる。
助成金	290,000	380,000	▲ 90,000	丹沢の緑を育む集い実行委員会 水質調査、講演会等
繰越金	59,482	87,162	▲ 27,680	
合計	403,482	467,162	▲ 63,680	

2 支出の部

科 目	予算 (A)	前年度予算額 (B)	比 較 (A-B)	備考
水質調査	260,000	260,000	0	交通費補助、採水ビン送料、検定料等
外来種駆除活動	0	70,000	▲ 70,000	講師謝礼、資料代、諸器具・消耗品費等
講演会	30,000	50,000	▲ 20,000	講師謝金等
世話人会運営費	60,000	53,000	7,000	交通費補助、通信費等
丹沢大山自然再生委員会会費	11,000	10,220	780	会費、振込手数料等
予備費	42,482	47,002	▲ 4,520	
合計	403,482	467,162	▲ 86,740	

→写真 春嶽湧水

水質調査

以前は小雨で水が枯れ水質調査が不可になったが、今は多量の湧水が出ている。

養毛より柏木林道30分

春岳沢の上流に髭僧の滝がある。

この湧水も日本一おいしい秦野水道水源です。



令和5年度丹沢大山ボランティアネットワーク世話人会 資料5

	氏 名	団 体 名	任期
代 表	小林 昭五	NPO法人丹沢自然学校	令和4.4～令和6.3
副代表	小野 均	NPO法人四十八瀬川自然村	令和4.4～令和6.3
副代表	山口 寿則	NPO法人伊勢原森林里山研究会	令和5.4～令和7.3
会 計	遠藤 順一	NPO法人野生動物救護の会	令和5.4～令和7.3
監 事	栗林 弘樹	丹沢ゴミ調査会	令和4.4～令和6.3
監 事	森島 眞知子	町田グlaus山の会	令和5.4～令和7.3

令和5年度丹沢大山ボランティアネットワーク総会結果報告

1 日時・場所

新型コロナウイルス感染症をめぐる社会情勢を踏まえ、書面にて開催

- ・ 令和5年4月 22 日 各団体に資料送付
- ・ 令和5年5月9日 各議案への賛否回答締め切り

2 出席者

回答 10 団体、未回答 17 団体

3 各議案の承認状況 すべての議案について、出席者(回答者)の過半数の賛成により、承認された。(丹沢大山ボランティアネットワーク会則第7条第3項)

議案1: 令和4年度事業報告・決算報告 **資料1. 2のとおり承認**

(賛成 10、反対0、回答なし0)

議案2: 令和5年度事業計画・予算(案) **資料3. 4のとおり承認**

(賛成 10、反対0、回答なし0)

議案3: 世話人の改選 **資料5のとおり承認**

(賛成 10、反対0、回答なし0)

4 その他(意見等)

- ・ 事業計画については、ただ単に事業を行うのではなく会則のボラネットの目的を再確認し、目的をはっきりさせ丹沢大山地域の環境啓発や交流会等を創意工夫しながら官民協働で進めて行きたい

丹沢大山ボラネット加盟団体からの投稿

 NPO法人丹沢自然学校 ナチュラル 丹沢

丹沢への案内

丹沢自然学校はボランティアを募集し水質調査へ参加しました。

毎年、**NO16西丹沢県民の森水場**と**NO17仲の沢法面湧水**の2カ所を担当しています。

玄倉林道入りロゲート→立間大橋から中ノ沢林道に入ります。ゆっくり歩くこと60分で林道の終着点に県民の森があります

別名大正の森とも言います。県民の森は範囲が広く、大正の森を含んでいます。

森林浴の森日本100選・かながわの美林50選に選ばれています。



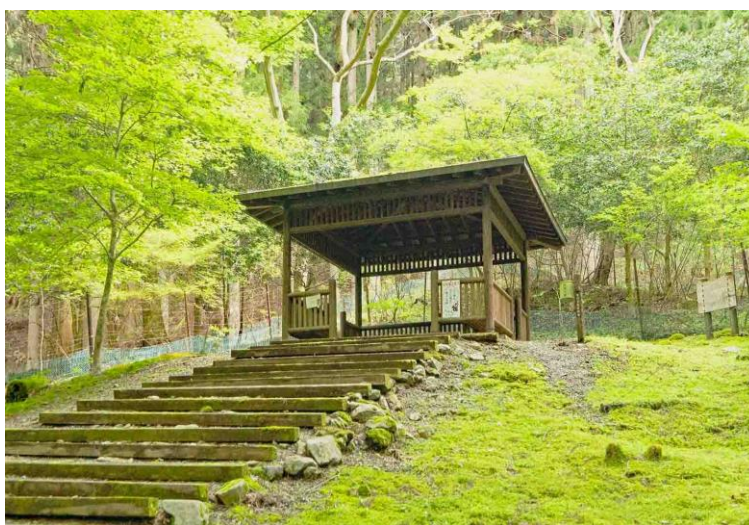
↑写真 西丹沢県民の森の案内図

→写真 東屋の休憩所

西丹沢県民の森の中には訪問者のために水場水道や東屋があり、ゆっくり休憩ができます

問 →写真のような簡単な建物をなぜ東(あずま)屋と言いますか？

語源は都が京にあった時代の東国の呼び方です。



←写真 仲ノ沢の法面湧水

次は中ノ沢林道を下り、中ノ沢法面湧水の採水。林道途中に林道法面湧水がビニールパイプより勢いよく流れ出ています。

気温や水温等を測定し慎重に採水を行いました。

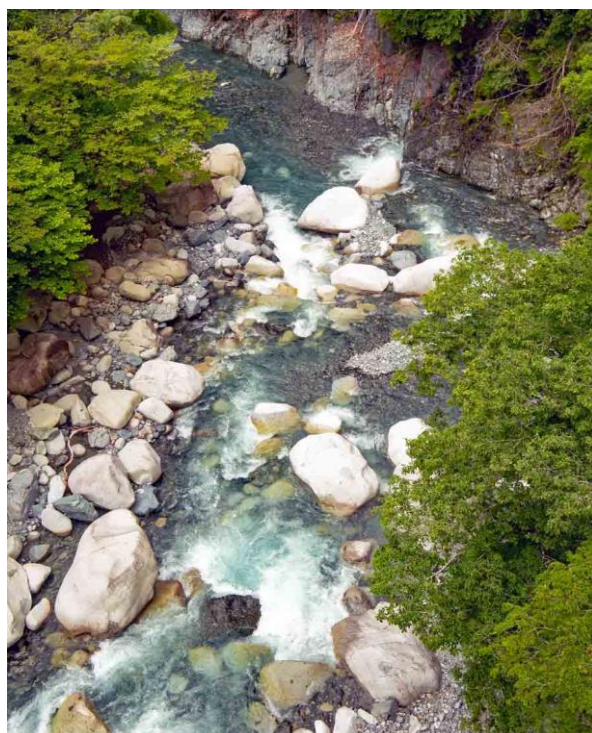


仲ノ沢林道下りながら、左下を流れる溪流は小川谷です。仲ノ沢林道から見える小川谷溪谷、風景はダイナミックで緑が美しいです。
特に玄倉川と小川谷合流付近、立間大橋からの大きな白い岩のある溪谷・溪流は特に素晴らしい。白い岩石は西丹沢溪谷の特長を示す岩石です。
トータル岩と言います。

昔はあまり聞かない名前だったが、石英閃緑岩の仲間で石英が多く含まれています。神奈川の石(岩石)に指定されています。

→写真 立間大橋から見た溪谷
(流れる川は玄倉川)

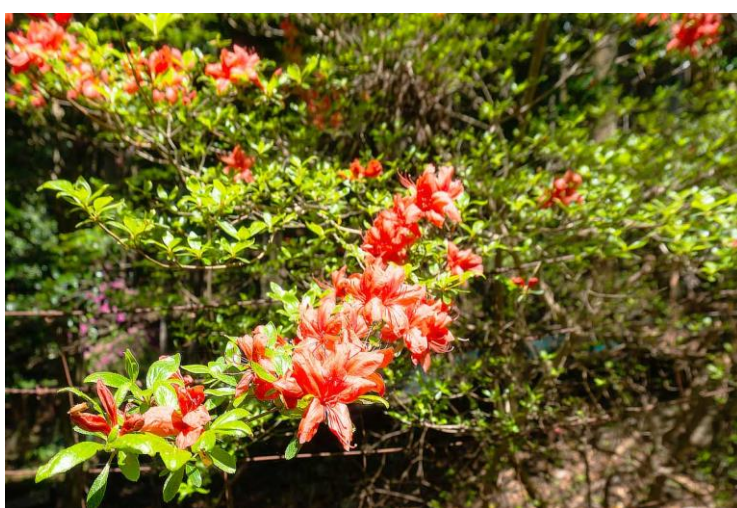
仲ノ沢林道の一番のビューポイントです。



紅一点の写真



↑写真 仲ノ沢林道沿いのニシキウツギ



↑写真 西丹沢県民の森のヤマツツジ

問 紅一点と言うが周囲は何色でしょうか？

- ① 白 ② 黒 ③ 緑

中国の詩人・王安石が読んだ詩の中にある「万緑叢中紅一点」(ばんりよく そうちゅうこういってん)を略したものです。

意味 一面緑色の草木の中に赤い花が咲いている。

実際は緑の中にザクロの赤い花が咲いているのを読んだみたいです。

丹沢ボラネット瓦版 2023 年7月号(通巻 114 号)7月6日発行

丹沢 大山ボランティアネットワーク世話人会代表 小林 昭五